

陳 情 一 覧 表

陳情 番号	受理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨	送 付 委員会
15	令和5年 11月10日	湖岸緑地公園駐 車場有料化の社 会実験について 今後行うので あれば、連休や 週末ではなく平 日に行い、その 結果を踏まえて 検討を行うこと について		<p>【陳情趣旨および理由】</p> <p>滋賀県は料金ゲートを設けた駐車場有料化を視野に入れた方法の社会実験を11月の最終週末に行うようだが、休日2日、平日1日という日程にしている。仮に料金ゲートを設置することを想定するのであれば、1年間等しく費用は発生する。そうであれば1年の3分の2以上は平日であるから、平日を中心に日程を組まなければ片手落ちであり、実験による損益についての知見は意味をなさない。春の時点では増大した維持管理費用に充てるのが有料化の目的でありアンケートもそのような設問になっていた。有料化事業が赤字になり現状より県民負担が増えるようなら有料化をする意味はない。</p> <p>また休日がアウトドアブームに乗ったキャンプ、バーベキュー利用者中心であるのに対し、平日は釣りや野鳥観察、写真撮影、犬の散歩など静粛な利用者が中心であり利用の在り方も異なる。今後駐車場有料化を検討するのであれば、平日の利用者の意見を聞くことはもとより、平日の利用実態の把握は必要不可欠なはずである。</p> <p>したがって滋賀県議会においては、仮に今後も湖岸緑地公園駐車場の有料化の社会実験を行うのであれば、春、秋の行楽シーズンではなく平日に的を絞った実験を行うよう滋賀県に求められたい。</p>	土木交通・ 警察・企業 常任委員会

陳 情 一 覧 表

陳情 番号	受理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨	送 付 委員会
17	令和5年 11月27日	琵琶湖岸の公園 について、駐車 場の有料化が利 用マナー向上に 本当に繋がるの か、因果関係を 慎重に検討する と共に、有料化 が歳入増に繋が らないのであれば 利用マナー向上 の代替施策を 早急に考えて実 行に移すことにつ いて		<p>【陳情趣旨および理由】</p> <p>春の有料化社会実験ではおおむねマナー良く利用され、ゴミの放置もゼロではないが少なかったと聞く。しかし実験は昼間に行われ、係員の目があったことが原因である可能性は否定できない。夜間も志那2、志那3が閉鎖されていたことからコロナ閉鎖のとき同様に何らかの監視の目が働いていたことになる。</p> <p>一方で春以降公園のゴミの放置状況を観察したところ、バーベキューの炭や網、キャンプのテントペグ、ロープなどに紛れて生活家電や滋賀県内の市町の記載がある段ボールなど、家庭ゴミとして処理すべきものを持って来て投棄したものも散見される。アウトドア客がゴミを持ち帰らないことも問題だが、近隣の滋賀県民が家庭ゴミの投棄をしていることは公園利用者のマナーではなく、公園が不法投棄場所と化していることから深刻度ははるかに大きい。</p> <p>これらの事実を総合的に考えると駐車場の有料化が事態の解決につながるとは到底思えず、監視カメラ等防犯の側面からの管理上の創意工夫の方がはるかに有効な手段に思えてならない。</p> <p>利用案内看板にも最近まで「ゴミは出来るだけ持ち帰って下さい」などと書かれていたことなどから管理者の不法投棄防止への本気度が甘く見られていた可能性もある。</p> <p>滋賀県議会は都市計画課に、より一層現場の把握に努め、指定管理者とも情報共有し、有料化が歳入増につながらないのであれば速やかに廃案し、例えば防犯の側面からのインフラ導入など代替策を考えるよう要求されたい。</p>	土木交通・ 警察・企業 常任委員会

陳 情 一 覧 表

陳情 番号	受理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨	送 付 委員会
19	令和5年 12月4日	湖岸駐車場有料 化社会実験の評 価は、実験を行 った駐車場と周 辺の無料駐車場 の利用台数の比 較結果を踏まえ て行い、その評 価を次期指定管 理者の再公募の 募集要項に反映 させることにつ いて		<p>【陳情趣旨および理由】</p> <p>滋賀県が志那1中と同南で行った公園駐車場有料化社会実験では、最も書き入れどきの土曜日の21時時点で志那1中の利用は2台、志那1南はゼロであった。一方で同時刻に近隣の志那2、北山田1はほぼ満車であった。日曜日の午前中は志那2で枠外駐車が見られた。</p> <p>当局は今回の低調な客入りを天候のせいだと釈明するかも知れないが、同条件で志那2、北山田1では満車だったことから、有料の志那1を回避した利用者が圧倒的多数であることは明白である。これが利用者集合体の本音であるとほぼ断定して差し支えないと言わざるを得ない。</p> <p>一方で、7月26日の常任委員会では「秋の実験が十分有効なものになり、その結果が良好な有料化の内容の協議につながることを前提に次期指定管理者選定を見守る」と確認された。しかし今回の実験は春よりも赤字がひどく、公募で唯一選定が決まった南湖西岸地区の指定管理者も有料化社会実験の事業計画書は費用項目を空欄にするなど良好な有料化の協議とは程遠く、前提が崩れた。</p> <p>また南湖東岸は応募ゼロで、再公募は実験結果に懲りずに依然有料化試行提案を含む募集要項であり指定管理料参考額以外変更しないと聞く。</p> <p>議会は、実験報告で当局の報告事項だけに捉われることなく、結果が有効であることが指定管理者選定を見守る前提だったことを鑑み、費用が嵩むばかりの有料化には見切りをつけ、指定管理者再公募の募集要項で有料化提案は削除し、例えば看板の刷新による利用ルールの周知徹底等管理の在り方の提案に差し替えるよう当局に要求するなど、現実的かつ合理的な視点で審議をされることを要望する。</p>	土木交通・ 警察・企業 常任委員会

陳 情 一 覧 表

陳情 番号	受理 年月日	件 名	提 出 者	要 旨	送 付 委員会
20	令和5年 12月5日	緑地公園駐車場 を無料で利用出 来る状態を今後 も継続すること について		<p>【陳情趣旨および理由】 コイ釣りはコイが通ると想定される場所に餌を投げ置いて、コイが捕食するまでひたすら待つという長時間の待ち釣りである。またコイ釣りは大きさを競うため長時間の釣りになりがちである。 琵琶湖においては大きなコイが釣れるため滋賀県民のみならず近畿、東海、関東からも多くのコイ釣り愛好家が訪れる日本有数の釣り場である。 全国鯉釣り協会（全鯉協）は全国のコイ釣り愛好家にて構成し会員相互間の親睦、交流を図り、コイ釣りの健全なる発展と育成に貢献し、釣り場の美化と環境保全に努めている団体である。 南湖の駐車スペースは緑地公園駐車場しかないため、有料化実施となれば、長時間利用のコイ釣り愛好家にとっては大きな負担となり、釣行する回数や時間も制約されることになってしまう。 現在、琵琶湖は多くのコイ釣り愛好家の憩いの場である。そのため公園の草刈りやトイレ設備等は最低設備状態でも構わないが、琵琶湖の自然さえ残してもらえれば私たちは十分にコイ釣りを楽しむことができる。 よって緑地公園駐車場については有料化することなく、現状どおり無料を継続するよう陳情する。</p>	土木交通・ 警察・企業 常任委員会